

多久高校の生徒たちが安全運転を呼びかけ

9/23 [Wed]



▲多久翁さん（左）と佐賀県警察のマスコット「ごろくん」（右）も交通安全を呼びかけました。



▲市役所前交差点で横断幕などを掲げ、安全運転を呼びかける多久高校の生徒たち。

秋の交通安全県民運動（9月21日から9月30日）に合わせ、多久高校の生徒たちが国道203号沿いで横断幕やのぼり旗を掲げ、走行するドライバーに安全運転を呼びかけました。

多久市交通対策協議会が主催する「セーフティライン作戦多久」と呼ばれるこの取り組みには、多久高校の野球部員のほか、交通安全指導員や小城警察署員、市職員など約50人が参加。交通量の多い通勤時間帯に合わせて啓発を行い、パトカーも隊列を組んで市内を巡回しました。



YouTube で動画が見れます！

大塚製薬と包括連携協定を締結



9/28 [Mon]



▲市役所で包括連携協定を結んだ横尾俊彦市長（左から2番目）と笠間支店長（左から3番目）

大塚製薬株式会社（本社：東京都）と多久市は、さらなる地域活性化と市民サービス向上に向けて協働するため、包括連携協定を締結しました。

市民の健康維持・増進やスポーツの振興、災害発生時の支援などの5項目を連携し、成長期の子どものための食育指導、災害時の支援物資の提供、熱中症対策といった事業を相互に協力し合って取り組みます。

市役所で行った協定締結式で、大塚製薬(株)福岡支店の笠間康久支店長は、「多久市民のみなさんが抱える生活課題を踏まえ、健康寿命の延伸につながるよう、多久市とともに取り組んでいく」と今後の意気込みを話しました。

多久ちんどん芸能隊が日本新聞協会の地域貢献大賞に輝く！

10/8 [Thu]



▲市外の敬老会で演奏を披露する多久ちんどん芸能隊のみなさん

▲座長を務める昭博さん（左）と妻の美和子さん（右）

佐賀新聞東多久販売店店主の宮口昭博^{みやぐちあきひろ}さんが座長を務める「多久ちんどん芸能隊」が、日本新聞協会の地域貢献大賞に選ばれました。この賞は、精力的な地域活動をした販売店に贈られるもので、九州の販売店が大賞を受賞したのは初めてです。

多久ちんどん芸能隊は平成23年に結成。昭博さんと妻の美和子^{みわこ}さんら8人のメンバーたちが、多い時では年間60回以上も高齢者施設などで歌謡曲やジャズを演奏しています。

座長の昭博さんは「たくさんの人に祝ってもらえて嬉しい。『よかった』、『楽しかった』という声を励みに、これからも変わらず楽しく続けていきたい」と笑顔で話しました。